

2006年度 第5回幹事会議事録

議題: 来年度の活動計画について

●日時

2007年1月27日(土)
15:00~17:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校内

●出席者

秋元圭一 [会長]
日野 高 [副会長]
三好耕之 [常任]
西田一成 [常任]
松岡和彦 [常任]
白石龍子 [常任]
小山 弘 [常任]
角谷祥子 [常任]
富澤和治 [常任]
永吉昭浩 [会員]
中島がおる [会員]

●委任欠席(カッコ内→代理人)

藤川正美(西田)
甲斐光省(秋元)
大村政幸
浜村圭一(秋元)
勝山昌幸

常任出席者 9名

委任欠席者 5名

定足数成立

●議事進行

議長・進行: 秋元圭一

●議事録

書記: 坂井由実
校正・制作・文責:
秋元圭一・小山 弘

■議題

来年度の活動計画について

講演(または勉強会)者の提案について

会則検討と女性会員のための企画発案会の提案

広報活動計画について

■講演(または勉強会)者の提案について

日野氏から、新しい講演企画の提案について説明があった。講演内容は「ユーザビリティ」についてであり、「デザイナー・クリエイターとして、ユニバーサルデザインやバリアフリーに関わる仕事をするために知っておくべき事」と付け加えた。

中島氏からは、今回依頼予定の講演者の中野泰志教授についての紹介があった。中野教授は早稲田大学心理学教授である。中野教授は、周囲のデザイナーの声を聞きたい、必ず交流会をつけてほしいとおっしゃっていることも伝えられた。ロービジョン体験やディスカッションも企画中に組みたいとの意見もあった。また、今回の企画はBridgeセミナーのうちの一つとして進めてほしいと日野氏が付け加えた。

これらに対し、秋元氏から「(今回の様な企画をやっていく上で)テーマ性を一回一回考えていくのか、シリーズ化にして有程度のスパンでやるのか、もしくはアサビとは異分野な部分でやっていくのか? どのような考え方でやるのか」との意見があり、日野氏は「3~4回と出来そうな回数を決め、予算も5万程度と考える位で進めていったほうがいい。企画は組み立てるが、あとは時事的なものなどを織り込んで、その時その時と柔軟な考え方でやっていくべき」と答えた。「(西田)企画に興味をもたせるようにするのが大切。外から人を呼ぶには、参加者が多くないと失礼になる」との意見に日野氏は「認知させるにはテーマがなににしる重要である。今回の企画は体験などがあるため50~60人くらいが適当だ」と述べた。

その他に「(松岡)この話は誰が進めていくのか?」という意見については「(日野)セミナーグループで受け止めて進んでもらいたい。あくまで今回はこんな企画はどうか、という提案」と述べた。

次回の開催目標は2007年中として、セミナープロジェクトチームに検討してもらうこととした。

■会則検討と女性会員のための企画発案の提案

欠席の甲斐氏の代理として小山氏から修正が入った会則と提案書が配布された。

会則検討について、今回は大きな変更はないことが伝えられ、意見として「(日野)同窓生になるタイミングと入会金のタイミングは前取りされているようなもの。どのくらい在籍していても、入りたいという意思表示があった時点で同窓生ということでは」「(秋元)三年進級時の入会金徴収に変わることと今までより卒業時期に近づくため、同窓生になるタイミングも含め定義などについては検討していくべき」「(日野)同窓会の構造図などをいれてわかりやすくしたほうがいい」などが討論された。

また、女性会員のための企画発案については、「(日野)若い女性、ということに縛られ過ぎ。新しい企画や色々な意見をとりいれられればと言うのもわかるが、常任幹事の女性を増やす方がいいのでは?」との意見があり、今後さらに検討していく事となった。

■広報活動計画について

小山氏から同窓会ニュースのリニューアルと、同窓会インフォメーションを新しく制作するという内容について説明があった。

同窓会ニュースは今まで、読まれないまま捨てられてしまうという事が多いと思われるため、現在のサイズのA4からA3に変えて、懐かしさを感じさせる記事を掲載してはどうかという提案がなされた。

また、同窓会インフォメーションは同窓会の紹介、活動、会則などを掲載して、窓口的役割を担う印刷物を作成してはどうかという提案だった。

これらについて「(日野)捨てる人は捨てるのでは?それよりもメールなどの媒体を考えてみては」「(秋元)四年に一度やっというと考えている総会・パーティーのためにも、会員のメールアドレスの登録が増えるとよい。それを利用すれば同窓会ニュースもメールにできることも」などの意見やメールを利用してない会員もいるなど、いくつか問題点はあるが、メール・ウェブと今までの印刷媒体の両立ができればより幅広く興味をもってもらう事になると話がまとまった。

まだ、初期の企画段階なので広報と事務局で様子を見ながら予算を計上し、同窓会ニュースのリニューアルは10月をめどに、同窓会インフォメーションは来年の卒業式までを目標に制作される事になった。

次回日程:3月31日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。